

# ポップフーテント T2-540-BK/TN

## 取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解してからご使用ください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

組立方法はWEBページ上に動画や画像でわかりやすく解説しております。  
詳しい組立方法を知りたい方はこちらから各製品ページをご確認ください。



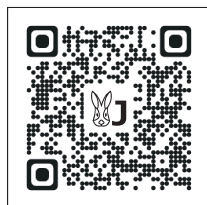
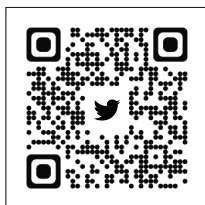
DOPPELGANGER OUTDOOR

検 索

<http://www.doppelganger-sports.jp/>



DODの新製品情報などについては下記SNSもご覧ください。



※DOPPELGANGER OUTDOORは地球環境保護のためペーパーレス化を推進しています。

## ご使用上の注意（ご使用前に必ずお読みください）

使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下に書かれた警告注意事項を必ずお守りください。

- 本製品は、風よけ・小雨よけなど一時的な使用を目的として設計されています。常設にしたり強風や大雨、降雪時には絶対に使用しないでください。
- 各部の構成をよく把握し、組立順序に従って取り扱ってください。
- 解体・撤去の際には、組立の逆の順序で必ず行い、手や指を挟まないようご注意ください。
- 組立設置及び、解体撤去に際しては、安全の為、手袋を着用してください。
- 小さなお子様のご使用になる場合、保護者の方はお子様から目を離さないでください。



## 警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- テント、タープ内で火気を使用したり、高温に加熱されたものを持ち込まないでください。火災や一酸化炭素中毒などの原因となり大変危険です。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険がある場所には設営しないでください。
- 台風、暴風雨、落雷などの危険な状況下で組み立てや設営をしないでください。
- 電線の近くで組み立てや設営をしないでください。感電する恐れがあり大変危険です。
- 本製品のいずれかの部品に異常が見受けられた場合、また異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。



## 注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業はさせないでください。
- 組み立て時や折りたたみ時には、本製品に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際は、水はけがよく平らな場所を選んでください。
- 石や小枝などのテント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- ペグやロープでしっかりと地面に固定してご使用ください。
- ポリコットンの性質上、縫い目の防水加工が難しく、雨の強さや時間によっては縫い目から浸水し、フロア生地に雨が溜まることがあります。
- フロア生地をペグダウンする際、テンションが高すぎるとフロア生地が浮きますので、バランスを見ながら調整してください。

## 収納、保管について

- 使用後は汚れを落として、完全に乾燥させてください。濡れたまま保管すると色移りやカビ、腐食、劣化、防水/撥水機能の低下の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取り、完全に乾燥させてください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は、色落ちや変色などの原因となるので使用しないでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- 本体や収納袋は洗濯しないでください。
- 幼児や小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
- 廃棄の際は各地方自治体の指示に従って廃棄してください。

## 結露について

テントやタープの生地には防水加工が施されており、外気との温度差が大きくなると生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。呼吸などにより室内の水蒸気濃度（湿度）が高くなった場合に起こりやすく、これらは定期的に換気をおこなうことで改善することができます。

## 撥水・防水性能について

撥水・防水加工の生地を使用しておりますが、ご使用を重ねると徐々に機能が低下します。撥水性が弱まった場合は市販の撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。



防水加工のポリウレタン（PU）コーティングは濡れたまま保管した場合、加水分解を起こし生地を劣化させる恐れがあります。また防水加工を施していても地面の水たまりや長時間の雨など長時間接触していると雨水がしみ込む場合があります。

## ポリコットン生地について

本製品に使用されているポリコットン生地は、防水コーティングされたポリエステル生地などとは異なり、水分を吸収した際に綿素材が膨張し、雨漏りを防ぐ構造です。そのため、張り方が弱いときや、長時間の雨に濡れた際には内部に雨漏りする場合があります。

特に、生地特性上、縫い目の防水テープ処理を行っていないため、雨天時には生地をつたってテント内の端部分にあるフロア生地に水がたまる場合があります。

濡らしたくない物を置かないようご注意ください。

また、濡れたまま保管をすると科学繊維に比べてカビが生じやすいためご注意ください。

## 製品仕様

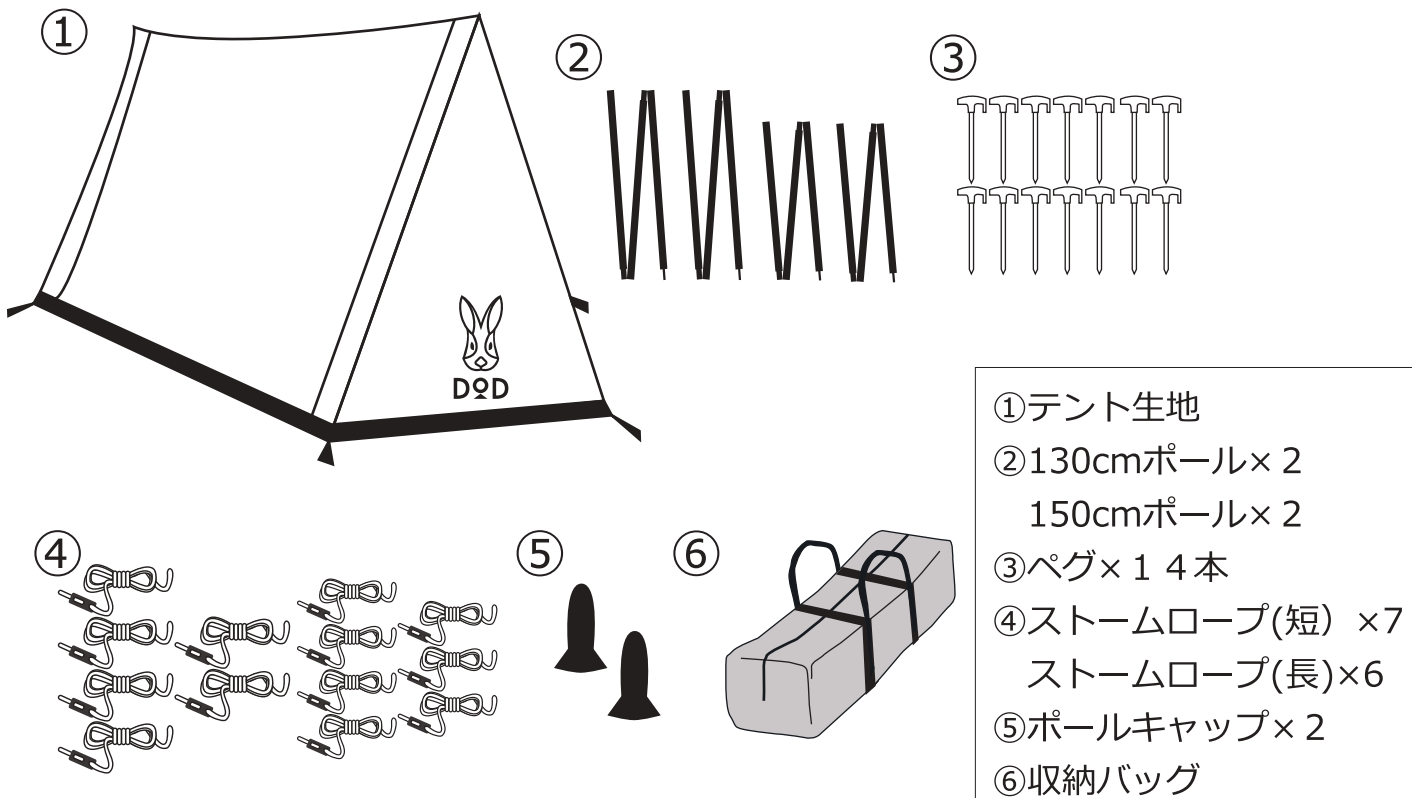
【材質】 テント生地：ポリコットン（PUコーティング、撥水加工） 綿35%  
ポリエステル65%

フロア生地：300Dポリエステル（PUコーティング、防炎加工）

ポール：アルミ

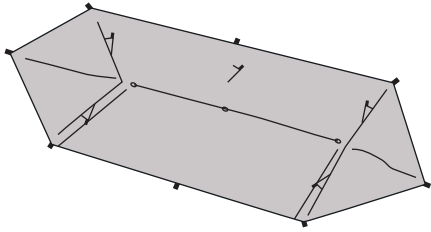
【原産国】 中国

## 各部の名称およびセット内容

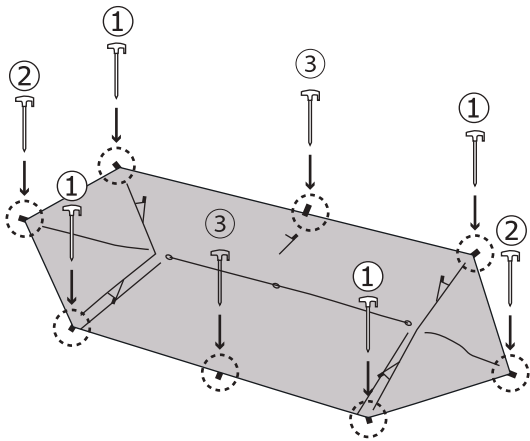


< 設営方法 > ※製品ページ上でも設営・撤収方法は詳しく見ることができます。

1. テント生地を地面に広げます。



2. ①→②→③の順に各ループにペグを打ち込みます。  
※テント生地にたわみが無いようにしてください。

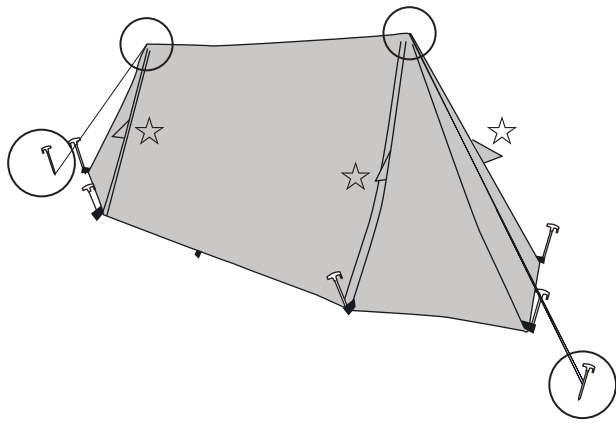


3. 130 c mポールを組み立てます。



4. テントの内側からグロメット部分に130cmポールの先端を差し込み、ポールを垂直に立ち上げます。

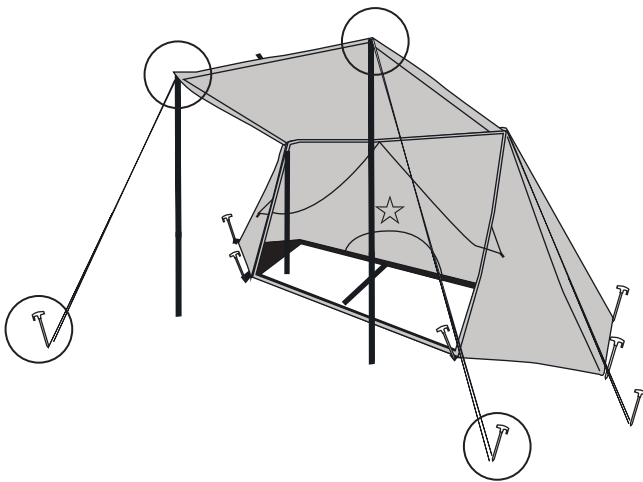




5. 図のようにロープ（長）をポール先端に引っ掛けて地面にペグを打ち込みます。（○部分）  
テント頂点分の辺りにたわみがないようにロープを調節してください。

風の強い日は必要に応じて☆部分にロープ（短）をつけて補強してください。

☆部分はテント背面を含めて5ヶ所あります。



6. ドア部分に150cmポールを差し込み、ロープ（長）でポールを固定し、キャノピーとして使用することが可能です。

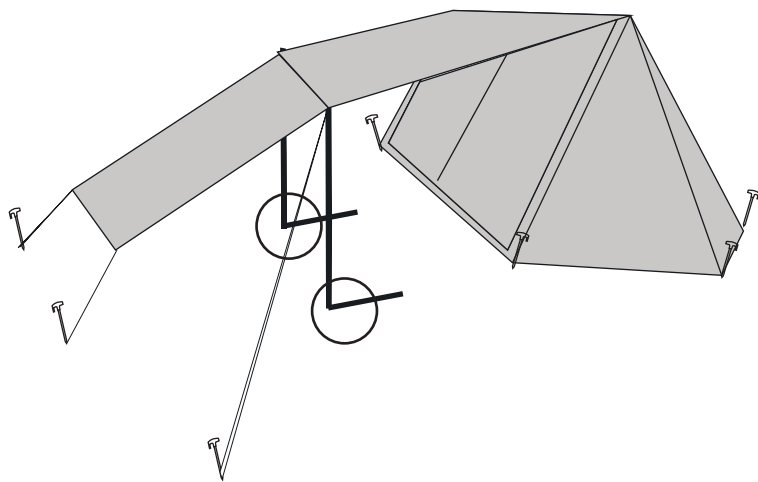
風の強い日は必要に応じてロープ（長）を2本使用して補強してください。



7. ドア部分のジッパーを開けてキャノピー部分を延長することができます。  
その際、ロープ（短）を使用し固定してください。（○部分）

キャノピー部分の角度(☆部分)が180度に近づく、ポール部分の生地が破損しやすくなります。

135度程度までを目安にキャノピー部分を延長してください。



8. キャンピー部分に落ちた雨がテント本体側に流れ込むと、本体側の縫い目から雨漏りがしやすくなります。雨天時にはキャンピー部分のポールを一段折ることで、雨をテント外側に流してください。(○部分)

## < 撤収方法 >

---

< 設営方法 > と逆の順序で撤収をおこなってください。